

平成 20 年度
教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検、評価報告書

平成 21 年 8 月
安芸高田市教育委員会

目 次

【点検及び評価の結果】

I	教育委員会の活動状況	
	<u>1 委員の選任状況</u>	・・・・・・・・ 1
	<u>2 教育委員会会議の開催状況</u>	・・・・・・・・ 1～ 4
	<u>3 研修会への参加状況</u>	・・・・・・・・ 4～ 5
II	学校教育	
	<u>1 幼児教育の充実</u>	・・・・・・・・ 6
	① 就学前教育充実事業	6
	<u>2 学校教育の充実</u>	・・・・・・・・ 6～13
	(1) 特色ある教育の推進	6
	(2) 社会の変化に対応した教育の推進	10
	(3) 心の教育の充実	11
	(4) 開かれた学校づくりの推進	12
	(5) 学校教育体制の充実	13
	<u>3 教育環境の整備</u>	・・・・・・・・ 13～15
III	生涯学習	
	<u>1 生涯学習体制の確立</u>	・・・・・・・・ 16
	<u>2 学習内容の充実</u>	・・・・・・・・ 17～19
	ア 青少年教育事業費	17
	イ 成人教育事業費	17
	ウ 家庭教育事業費	17
	エ 人権教育事業費	18
	オ 教室・講座開設事業費	18
	カ 国際交流事業費	18
	<u>3 生涯学習施設の整備と有効活用</u>	<u>19～21</u>
	ア 社会教育施設維持管理費	19
	イ 少年自然の家管理運営費	20
	ウ 図書館事業費	20

4 文化活動の推進	・ ・ ・ ・ ・	21～23
5 文化財の保護と活用	・ ・ ・ ・ ・	23～24
ア 歴史資料等保存活用事業費		23
イ 文化財保護事業費		24
6 スポーツレクリエーション活動の推進	・ ・ ・ ・ ・	24～26
ア 保健体育総務管理費		24
イ スポーツ振興団体育成事業費		25
ウ スポーツ教室・大会等開催事業費		25
エ スポーツ指導者等育成事業費		25
7 スポーツレクリエーション施設の整備		26～27
ア 社会体育施設維持管理費		26
イ AED(Automated External Defibrillator : 自動体外式除細動器)整備事業		26

IV 教育行政評価委員会の意見

教育行政評価委員会の概要

1 教育行政評価委員会の設置目的	・ ・ ・ ・ ・	28
2 開催日時及び場所	・ ・ ・ ・ ・	28
3 出席者	・ ・ ・ ・ ・	28
4 報告	・ ・ ・ ・ ・	28
5 議題	・ ・ ・ ・ ・	29
6 委員からの主な意見等	・ ・ ・ ・ ・	29～30
学校教育に関する事務事業について		29
生涯学習に関する事務事業について		29
文化・スポーツの振興に関する事務事業について		30
総括意見		30

参考資料

参考資料 1 (平成 21 年 安芸高田市教育委員会告示第 6 号)

「安芸高田市教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する実施要綱」

参考資料 2 (平成 21 年 安芸高田市教育委員会告示第 7 号)

「安芸高田市教育行政評価委員会設置及び運営要綱」

I 教育委員会の活動状況

教育委員会の運営に関する経費 3,177,880 円

1 委員の選任状況

平成 21 年 8 月 1 日現在

職名	名前	任期	備考
委員長	上田 隆之	平成 20 年 4 月 28 日～平成 24 年 4 月 27 日	
委員長職務代理者	眞田 良三	平成 18 年 4 月 28 日～平成 22 年 4 月 27 日	
委員	堀川由紀子	平成 20 年 4 月 28 日～平成 22 年 4 月 27 日	
委員	中村 保子	平成 20 年 7 月 8 日～平成 23 年 4 月 27 日	
委員	佐々木哲志	平成 21 年 4 月 28 日～平成 25 年 4 月 27 日	
教育長	佐藤 勝	平成 20 年 4 月 28 日～平成 24 年 4 月 27 日	

※任期は委員としての任期、委員長の任期は 1 年、教育長の任期は 4 年

2 教育委員会会議の開催状況

会議では、教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針等について審議している。会議は原則として毎月 1 回開催し、必要に応じて臨時に会議を開催している。

開催期日	区分	件名
4 月 10 日	審議事項	1 平成 20 年度 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について 2 安芸高田市社会教育委員の委嘱について 3 安芸高田市公民館運営審議会委員の委嘱について 4 安芸高田市立図書館協議会委員の委嘱について 5 安芸高田市芸術農園「四季の里」作家選定委員会委員の委嘱について 6 安芸高田市文化財保護委員の委嘱について 7 安芸高田市体育指導委員の委嘱について 8 安芸高田市指定天然記念物の名称変更について 9 安芸高田市教育委員会教育長専決事項に関する規程の制定について
	報告事項	1 安芸高田市教育委員会所管施設の入館料減免規程の一部改正 2 安芸高田市生涯学習自主活動団体支援事業要綱の制定
4 月 28 日 (臨時会)	審議事項	1 安芸高田市教育委員会委員長の選任について 2 安芸高田市教育委員会委員長職務代理者の指定について 3 安芸高田市教育委員会教育長の任命について
	報告事項	1 平成 20 年度「安芸高田かがやきプラン」について 2 平成 20 年度教育委員会事務分掌について
5 月 14 日	審議事項	1 平成 20 年度教育委員会予算について 2 平成 20 年度就学援助費〔第 1 号〕の認定について 3 平成 20 年度学校評議員の委嘱について 4 平成 20 年度学校給食運営委員会委員の委嘱について 5 安芸高田市公民館運営審議会委員の委嘱について 6 安芸高田市奨学金審査会委員の委嘱について 7 平成 21 年度使用小学校用教科用図書の採択基本方針について 8 平成 21 年度使用小学校用教科用図書の採択に係る選定委員及び調

		<p>査員の決定について</p> <p>9 安芸高田市特別支援教育就学奨励費支給規則の制定について</p>
	報告事項	<p>1 社会教育及び社会体育関係団体等補助金交付要綱の一部改正について</p> <p>2 安芸高田市伝統文化活動団体支援補助事業実施要領の制定について</p> <p>3 安芸高田市芸術文化振興補助事業実施要領の制定について</p> <p>4 安芸高田市青少年教育・成人教育活動支援補助事業実施要領の制定について</p> <p>5 安芸高田市スポーツ振興に関する補助事業実施要領の制定について</p>
6月16日	審議事項	<p>1 平成20年度就学援助費〔第2号〕の認定について</p> <p>2 安芸高田市資料館運営委員の委嘱について</p> <p>3 安芸高田市奨学金貸付条例施行規則の一部を改正する規則について</p>
	報告事項	<p>1 非常勤職員の人事</p> <p>2 平成20年度奨学生の認定</p> <p>3 安芸高田市学校関係者評価委員会設置要綱の制定</p> <p>4 安芸高田市青少年海外派遣事業実施要綱の制定</p> <p>5 安芸高田市青少年海外派遣事業助成金交付要綱の制定</p> <p>6 平成20年度安芸高田市青少年海外派遣事業実施要領の制定</p> <p>7 安芸高田市B&G海洋体験学習派遣事業実施要綱の制定</p> <p>8 安芸高田市B&G海洋体験学習派遣事業助成金交付要綱の制定</p> <p>9 社会教育委員会議への諮問</p> <p>10 公民館運営審議会への諮問</p> <p>11 文化財保護審議会への諮問</p>
7月14日	審議事項	<p>1 平成20年度就学援助費〔第3号〕の認定について</p> <p>2 安芸高田市社会教育委員の委嘱について</p>
	報告事項	<p>1 非常勤職員の人事</p> <p>2 安芸高田市学習補助員配置事業実施要綱の制定</p> <p>3 安芸高田市家庭教育支援員配置事業実施要綱の制定</p> <p>4 安芸高田市市民ニュージーランド派遣事業実施要綱の制定</p> <p>5 安芸高田市市民ニュージーランド派遣事情助成金交付要綱の制定</p> <p>6 平成20年度安芸高田市市民ニュージーランド派遣事業実施要領の制定</p> <p>7 安芸高田市サンフレッチェ広島スポンサードゲームの実施について</p> <p>8 平成20年安芸高田市成人式について</p> <p>9 安芸高田市給食センター整備運営協議会及び整備検討委員会の設置について</p> <p>10 平成21年度の県立学校再編整備について</p>
8月7日	審議事項	<p>1 平成20年度就学援助費〔第4号〕の認定について</p> <p>2 平成21年度使用小学校教科用図書の採択について</p> <p>3 平成21年度特別支援学級使用教科用図書の採択について</p>
	報告事項	<p>1 平成20年安芸高田市成人式について</p> <p>2 広島県立高宮高等学校の件について</p>

9月8日	審議事項	1 平成20年度就学援助費〔第5号〕の認定について 2 平成20年度一般会計(教育費)補正予算について
	報告事項	1 非常勤職員の人事 2 安芸高田市教育委員会事務決裁規程の一部改正 3 学力調査の結果について 4 生徒指導上の諸問題の結果について 5 柳ヶ城古墳(仮称)市史跡指定への取組みについて
10月1日	審議事項	1 平成20年度就学指導委員会委員の委嘱について 2 平成19年度一般会計(教育費)決算について 3 平成20年度一般会計(教育費)補正予算〔第4号〕について
	報告事項	1 学校施設の耐震診断結果の公表について
11月13日	審議事項	1 平成20年度就学援助費〔第6号〕の認定について 2 平成20年度一般会計(教育費)補正予算について
	協議事項	1 平成21年度組織機構改革について 2 平成21年度県費負担教職員の人事異動に係る事務の取扱いについて
	報告事項	1 生徒指導上の問題について 2 郡山城跡発掘調査検出遺構の取扱いについて 3 郡山城跡(西谷東地点)遺構断面土層剥ぎ取りについて 4 市指定天然記念物の指定の一部解除について
12月4日	協議事項	1 平成21年度組織機構改革について
	報告事項	2 郡山城跡発掘調査検出遺構の取扱いについて
1月15日	審議事項	1 指定学校変更の認定について 2 安芸高田市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 3 安芸高田市教育委員会事務局職員の職の設置に関する規則の一部を改正する規則について 4 安芸高田市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について 5 教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則について 6 安芸高田市社会体育施設等設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則について 7 安芸高田市向原運動広場設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則について 8 安芸高田市学校施設の開放に関する規則の一部を改正する規則について 9 平成20年度一般会計(教育費)補正予算について 10 芸高田市奨学金貸付審査会委員の委嘱について 11 安芸高田市資料館運営委員会委員の委嘱について 12 安芸高田市資料館運営委員会委員の委嘱について
	協議事項	1 成20年度卒業式における告辞担当校について
	報告事項	1 安芸高田市教育委員会非常勤人材登録制度事務取扱要領の一部改正 2 地域改善対策奨学金の事務取扱いについて
2月12日	審議事項	1 平成20年度就学援助費〔第7号〕の認定について 2 平成20年度一般会計(教育費)補正予算について 3 平成21年度一般会計(教育費)当初予算について 4 教育委員会事務局職員の人事について
	報告事項	1 教育委員会事務局職員の人事について

3月2日	審議事項	1 平成20年度就学援助費〔第7号〕の認定について 2 平成21年度安芸高田「かがやき」プランについて 3 安芸高田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
3月17日 (臨時会)	審議事項	1 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検、評価報告書について 2 平成21年度県費負担教職員の人事異動内申について 3 平成21年度安芸高田市教育委員会職員の人事異動について
	報告事項	1 安芸高田市教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する実施要綱の制定 2 安芸高田市教育行政評価委員会設置及び運営要綱の制定
3月27日 (臨時会)	審議事項	1 安芸高田市教育委員会組織規則の一部を改正する規則について 2 安芸高田市教育委員会職員の職の設置に関する規則の一部を改正する規則について 3 安芸高田市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について 4 教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則について 5 安芸高田市立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部を改正する規則について
	報告事項	1 平成21年度安芸高田市教育委員会教育次長の人事異動について 2 安芸高田市教育委員会非常勤職員人材登録制度事務取扱要領の一部改正 3 安芸高田市立学校職員衛生管理規定の一部改正 4 安芸高田市立学校教職員定期健康診断実施要綱の一部改正 5 安芸高田市立学校結核対策委員会設置要綱の一部改正 6 安芸高田市立美土里中学校寄宿舎管理運営規程及び安芸高田市教育委員会事務局職員の職員証に関する規程の廃止 7 安芸高田市教育委員会事務決裁規程の一部改正 8 安芸高田市教育委員会調整監及び担当係長並びに担当係長をもって充てる際の館長の職務権限等規定の制定 9 平成21年度教育委員会非常勤特別職の任用について

3 研修会への参加状況

教育委員は、各種研修会に積極的に参加し、国、県の動向や県内市町の取り組みについて情報を収集している。

平成20年度も多くの研修に参加し、今後の教育委員会のあり方について検討していくための情報や知識を得ることができた。

研修名	内 容
平成20年度広島県女性教育委員グループ第1回研修会 7/16 広島国際学院大学 立町キャンパス	講話「新学習指導要領について」 広島県教育委員会指導第1課 古賀忠雄氏 総会
平成20年度広島県市町教育委員会教育委員研修会 9/4～5 国際会議場	文部科学省主催 市町村教育委員会教育委員研究協議
県・市町教育委員合同研修会 9/12 メルパルク広島	研修会「新しい学習指導要領について」 「教員免許更新制の導入について」 情報交換会

<p>平成20年度広島県市町教育委員会教育委員研修会 11/21 八丁堀シャンテ</p>	<p>講話「新たな『教育県ひろしま』の創設に向けて」 広島県教育委員会教育長 榎田好一氏 講演「地域・家庭教育と学校教育～豊かな連携を求めて」 広島大学大学院総合科学研究科教授 浦 光博氏 ほか</p>
<p>平成20年度広島県女性教育委員グループ第2回研修会 11/12 府中市教育センター</p>	<p>研究公開参観 (平成20年度広島県府中市小中一貫教育研究大会) 「府中市立府中小学校、府中中学校」</p>
<p>平成20年度広島県女性教育委員グループ第3回研修会 2/4 広島国際学院大学立町 キャンパス</p>	<p>実践発表 呉市教育委員会委員 実践報告「県内公立小・中学校における現状と課題」 広島市立小学校教諭 ほか</p>

II 学校教育

1 幼児教育の充実（学校教育推進室）

① 就学前教育充実事業

【総括】

- ・ 吉田幼稚園を運営し、幼児の健やかな成長のために適切な環境を整備し教育活動を実施した。
- ・ 就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図るため、幼保小連携事業を推進し、教育課程等の研究をした。
- ・ 幼稚園における預かり保育を実施し、子育て支援対策の充実を図った。

【実施内容】

- ・ 決算総額 5,915,766 円
- ・ 内訳

節<細節>	決算額（円）	概 要
報酬<非常勤職員報酬>	2,358,000	非常勤職員2名の報酬
備品購入費<一般備品>	650,508	園児図書、乗り物、人形等遊具他

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 預かり保育を実施し、幼稚園教育にも求められている子育て支援対策を充実し、保護者のニーズに応える体制が整備できた。

<預かり保育実績>

区分	延べ人数	預かり保育料
平日（14：00～17：00）	1,274人	254,800円
長期休業中（9：00～17：00）	144人	72,000円

- 幼保小連携研修を実施し、互いの実態、教育内容等の理解が進んだ。今後更なる研究が必要である。
- 安芸高田市としての就学前教育の基準（施設設備、教育内容等）について研究する必要がある。

2 学校教育の充実

(1) 特色ある教育の推進（学校教育推進室）

【総括】

- ・ 学力向上推進事業、体力向上推進事業において、児童生徒一人一人の基礎学力の定着、健やかな体づくりに取り組んだ。
- ・ 特色ある学校づくり事業において、学校の教育研究力の向上と地域に開かれた特色ある学校づくりに取り組んだ。
- ・ 児童生徒教職員健康管理事業において、児童生徒教職員の健康診断を実施する等健康管理を行うとともに、健康管理に係る指導啓発を行った。
- ・ 特別支援教育推進事業において、障害のある児童生徒に対する適切な就学指導を行うとともに、個のニーズに応じたきめ細やかな教育環境の整備、教育内容の創造を行った。

【実施内容】

- ・ 決算総額 49,785,211 円
- ・ 内訳

事業名	決算額（円）	概 要
① 教育内容開発事業	（人件費事業）	・ 国、県教育研究指定校指導
② 学力向上推進事業	8,579,346	・ 学習補助員 3名配置 ・ 学力調査実施と指導方法の工夫改善

③ 特色ある学校づくり事業	6,942,155	・幼稚園、小中学校の特色ある教育研究への支援 ・地域体験学習や伝統的な教育活動実施への支援
④ 児童生徒教職員健康管理事業	8,433,466	・児童生徒教職員健康診断実施 ・学校医、学校歯科医、学校薬剤師委嘱 ・健康管理医委嘱
⑤ 就学前児童健康管理事業	332,250	・就学時健康診断実施
⑥ 健康教育啓発事業	44,780	・学校保健会負担金納入
⑦ 安全管理事業	2,339,845	・小1に対する熊よけカウベル、防犯ブザー配布
⑧ 安全教育推進事業	(人件費事業)	・安全教育指導啓発
⑨ 体力向上推進事業	1,671,470	・中学校部活動支援 ・体力テスト分析による指導法改善
⑩ 特別支援教育推進事業	21,441,899	・教育介助員 11名配置 ・就学指導委員会開催等就学指導 ・巡回相談等教育相談実施
⑪ 適正就学管理事業	(人件費事業)	・児童生徒の就学管理
⑫ 中高連携事業	(人件費事業)	・中学校、高等学校の教育内容等の連携

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

<基礎学力が定着している（通過率60%以上）の児童生徒の割合>

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成20年度広島県
小学校国語	85.7%	61.9%	70.8%	70.2%
小学校算数	92.1%	85.8%	92.6%	84.2%
中学校国語	93.1%	85.1%	85.6%	81.5%
中学校数学	76.1%	79.4%	70.3%	63.0%
中学校英語	80.7%	86.6%	82.5%	72.3%

※広島県基礎・基本定着状況調査より

- 学力調査結果の分析を受け、各学校において授業改善、指導方法の工夫を進めた。その結果、基礎的・基本的な学習内容は概ね定着してきている。
- 学習補助員をモデル的に3名配置した。児童・保護者・学校からは概ね好評で、児童の家庭学習の習慣、学習意欲の向上に成果が見られた。今後、学習補助員の研修を計画的に実施し、専門性及び指導力の向上を図り、制度の有効活用につなげていきたい。
- 市立幼稚園、小中学校が、園児児童生徒の実態を踏まえ、教育目標を具現化するために、地域に根ざした特色ある教育活動や特色ある教育研究を展開した。体験学習を通して、地域を愛する心や感謝の心、生命尊重の心等、豊かな心を育成するとともに、教育研究により教職員の指導力向上を図った。

No.	学校名	主な事業実績		決算額 (円)
		特色ある教育研究(研究主題・研究教科)	特色ある教育活動	
1	吉田幼稚園	○ 体力の向上	○ 体操教室	100,000
2	吉田小学校 【生徒指導研究推進校・文科省道徳教育実践研究事業指定校】	○ 「自己肯定感を高める『心に響く道徳の時間』の創造～道徳的实践につながる道徳の授業づくり」 ○ 道徳	○ 花いっぱい活動 ○ 百万一心劇、自画像製作	498,436

3	可愛小学校 【文科省学力の把握に関する研究指定校事業】	○ 数学的思考力の育成～数量関係領域の指導と評価の工夫を通して ○ 算数	○ 可愛っ子ソーラン創造 ○ 花いっぱい運動	283,938
4	郷野小学校	○ 筋道を立てて考える力の育成～自ら考える算数的活動の工夫を通して ○ 算数	○ 金管バンド活動 ○ 芝生を活用した体力づくり	387,293
5	刈田小学校	○ 「思考力を育成する指導の工夫」～算数的活動の充実を重視した授業づくり ○ 算数	○ 歌唱指導	331,440
6	根野小学校 【創意工夫育成功労学校賞文部科学大臣表彰受賞】	○ 問題解決の力を育てる学習活動の創造～科学的なものの見方や考え方を養い、伝える力を培う指導のあり方 ○ 理科	○ ロボット学習 ○ ビオトープ等環境学習	299,541
7	美土里小学校 【芸北教育事務所リーディングスクール指定事業】	○ わかる・できる・かんじる学びの創造～一人一研究・学校体制の工夫を通して ○ 体育・保健	○ 「美土里協育夢プラン21」 ○ 地域「やろう会」との連携による郷土理解学習（米作り等）	299,405
8	川根小学校	○ へき地小規模校の特性を生かした学習意欲を高める指導のあり方～一人学びを成立させるノート指導の工夫 ○ 算数	○ まごころ高齢者交流、炭焼き等地域体験学習 ○ 自転車乗り方大会出場	253,163
9	来原小学校 【ことばの教育ステップアップ校】	○ 自ら学び、理論的思考ができる子どもをめざして～ことばの教育を活用し、練り合い深め合う算数科の授業を通して ○ 生活・総合的な学習の時間	○ 牧場体験、陶芸活動等地域体験学習 ○ ブラスバンド活動	143,835
10	船佐小学校 【広島県小学校家庭科教育研究大会】	○ よりよい生活を創り出す子どもの育成～実践に活かす家庭科教育の充実 ○ 生活科・家庭科	○ 「船佐っ子太鼓」演奏 ○ 花いっぱい運動	440,618
11	甲立小学校	○ 楽しんで読書し続ける子どもの育成～読書につながる授業の工夫と読書しやすい環境づくりを通して ○ 国語	○ 梨作り等地域体験学習 ○ 読書ボランティアとの連携等による読書活動	299,585
12	小田小学校	○ 考える力を育む算数科授業のありかた ○ 算数	○ 大土山田楽 ○ 梨作り等地域体験学習	308,805
13	小田東小学校	○ 読解力を高める「分かる授業」の創造～説明的文章における指導の工夫 ○ 国語	○ 梨作り等地域体験学習 ○ 読み語り等読書活動	184,000

14	向原小学校 【文部科学省教育研究開発校】	○「論理力を育成する教育内容の創造」～「論理科」の開発と実践 ○ 論理科	○ 花いっぱい運動 ○ 文集「さくらが丘」編集	284,162
15	吉田中学校 【全国学力・学習状況調査等を活用した学校改善の推進に係る実践研究事業調査活用協力校・生徒指導研究推進校】	○ 確かな学力の定着と豊かな心の育成を図る教育の創造～「知る」「活かす」「伝える」力の育成を通して ○ 国語・数学	○ 吹奏楽部活動 ○ 着付け、茶道、華道等 ○ 我国の伝統文化に触れる活動 ○ 校内写生大会、環境美化運動等情操教育の推進	538,640
16	八千代中学校	○ 豊かな人間性を育む心に響く道徳教育 ○ 道徳	○ NHK合唱コンクールへの参加 ○ 地域芸能継承活動「田楽」	204,420
17	美土里中学校 【芸北教育事務所リーディングスクール：授業力向上】	○ 生徒一人一人が、自ら学び、自ら考える力をつける授業づくり～表現力を高める指導の工夫 ○ 全教科・領域	○ 「美土里協育夢プラン21」 ○ 神楽上演等地域伝統文化継承学習 ○ NIE 活動	434,706
18	高宮中学校	○ 学ぶ楽しさを味わい、自ら学ぶ生徒の育成～「教えて考えさせる授業」を通して ○ 全教科・領域	○ 和太鼓演奏招聘、環境美化運動等情操教育の推進 ○ 食育推進	261,054
19	甲田中学校	○ 『生徒と生徒のこころをつなぐ教育の創造』～授業の中で～授業における表現力を高める取組みを通して ○ 全教科・領域	○ 地域人材招聘による「その道に学ぶ」生き方学習 ○ 地域芸能伝承活動「五龍太鼓」	1,211,524
20	向原中学校	○ 志を持ち、中学校時代の今を努力する生徒の育成 ○ 全教科・領域	○ 職業人講話 ○ キャリア教育推進	177,590

<体力・運動能力調査全国平均以上の項目数>

校種	H19	H20	H20 広島県
小学校（全学年）	80(83.3%)	76(79.2%)	59(61.5%)
中学校（全学年）	28(58.3%)	28(58.3%)	17(35.4%)

※ 延べ項目数小学校 96 中学校 48、 %は全国平均以上項目数/延べ項目数

□ 体力・運動能力調査に基づく結果を分析し、小中学校の体育科授業の改善、業間体育、外遊びの奨励、運動部活動の活性化を図ってきた結果、小学校において全国平均を上回る項目数が増加した。

■ 全国学力・学習状況調査の結果から、国、県の傾向と同様本市においても、依然、応用力に課題があることがわかった。これらの力を育成する授業のあり方の研究を進めるために、指定校指導、教職

員研究組織への支援等、授業研究、教育研究充実への支援体制をさらに強化する。

あわせて、学校図書館整備を進め、授業等において積極的に活用することで、思考力、表現力等応用力の向上につなげたい。

<全国学力学習調査 B 問題平均通過率>

	平成 20 年度	平成 20 年度全国	平成 20 年度広島県
小学校国語 B	53.3%	50.5%	53.3%
小学校算数 B	51.7%	51.6%	53.6%
中学校国語 B	64.7%	60.8%	60.9%
中学校数学 B	53.0%	49.2%	48.7%

<学校図書館図書標準を達成している学校の割合（平成 19 年度実績）>

	安芸高田市	広島県
小学校	38.5% (5 校)	65.8%
中学校	0% (0 校)	51.2%

- 学校図書館における図書標準の早期充足を図る。また、市立図書館との連携等を模索し、効果的な、図書館運営に努める。

(2) 社会の変化に対応した教育の推進（学校教育推進室）

【総括】

- ・ 国際理解教育推進事業において、外国語指導助手の派遣等により、児童生徒等の豊かな国際理解感覚の醸成、英語力の向上を図った。
- ・ 情報教育推進事業において、情報教育研修会を実施し児童生徒の情報活用能力及び教職員の情報教育指導力の向上を図った。

【実施内容】

- ・ 決算総額 22,696,263 円
- ・ 内訳

事業名	決算額（円）	概 要
1 情報教育推進事業	（人件費事業）	・ 情報教育担当者研修会実施
2 国際理解教育推進事業	22,696,263	・ 外国語指導助手 5 名派遣 ・ 英語活動研修会実施

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 学習指導要領改訂により、週 1 時間の外国語活動（英語）が、小学校 5,6 年生の教育課程に位置づけられることになった。本市においては、これまで国際理解教育の一環として、全学年とも英語活動に取り組み、概ね 2 週間に 1 時間程度 ALT を派遣しての TT 授業や教員の英語活動の指導力向上研修等を計画的に実施しており、円滑な導入が想定できる。
- 今年度、ALT の指導力の向上、派遣体制の強化（危機管理への対応）の 2 点をねらいとして、ALT 派遣を JET（自治体国際化協会）から民間企業へ切り替えた。小学校 5,6 年生の英語活動に対する肯定度も、平成 19 年度 65%、平成 20 年度 78.8%と高まり、派遣体制を変更した事の成果としてとらえられる。
- 中学校における英語学力については、教科全体、聞くこと及び実技に成果が表れている。しかし英語授業への意欲に課題があり、授業改善への指導が必要である。

<広島県基礎・基本定着状況調査中学校英語の結果より>

中2	H19	H20	H20 広島県
英語授業がすき	50.0%	44.8%	57.6%

英語科		H18	H19	H20
教科全体	県	76.3	73.4	71.1
	市	80.0	78.0	76.8
聞くこと	県	79.5	85.1	79.1
	市	84.5	87.3	82.8
実技	県	81.4	75.0	73.8
	市	89.1	84.4	82.1

(3) 心の教育の充実（学校教育推進室）

【総括】

- ・ 道徳教育推進事業および人権教育推進事業において、児童生徒の規範意識、道徳性、人権感覚等豊かな心の育成を図った。
- ・ 体験活動推進事業において、市内小中学校が、主に安芸高田少年自然の家での宿泊体験活動等を実施した。これらの体験活動を通し、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育成した。
- ・ 生徒指導対策推進事業、適応指導教室運営事業において、生徒指導上の諸問題への未然防止策を含め積極的な対応を図った。

【実施内容】

- ・ 決算総額 12,876,362 円
- ・ 内訳

事業名	決算額（円）	概要
1 道徳教育推進事業	（人件費事業）	・ 道徳教育推進学校指導 ・ 安芸高田市道徳推進協議会運営
2 人権教育推進事業	（人件費事業）	・ 人権教育推進学校指導
3 体験活動推進事業	1,129,643	・ 意欲を育む宿泊体験活動実施支援
4 キャリア教育推進事業	（人件費事業）	・ 進路指導学校指導 ・ キャリア教育推進学校指導
5 適応指導教室運営事業	7,613,579	・ 適応指導教室運営
6 生徒指導対策充実事業	4,133,140	・ 生徒指導主事研修会実施 ・ 家庭教育支援員 3名配置

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

<問題行動および不登校の発生状況>

学校種	種別	H18	H19	H20	H20（広島県）
小学校	暴力行為	0(0)	1.9(3)	1.5(1)	0.9
	いじめ	4.9(8)	1.3(2)	1.5(1)	1.2
	不登校	0.74(12)	0.38(6)	0.2(3)	0.38
中学校	暴力行為	5.8(5)	9.5(6)	3.7(3)	12.2
	いじめ	9.2(8)	2.4(2)	3.7(3)	4.2
	不登校	4.51(39)	4.36(37)	3.05(25)	3.29

※ いじめ暴力行為…児童生徒 1000 人あたりの発生数（ ）は実数

※ 不登校…全児童生徒数に対する不登校児童生徒の割合（ ）は実数

- 生徒指導主事連絡会を定期的開催し、情報連携、指導方法研修等を実施したことによって、小中

連携の深化、未然防止の視点での積極的な生徒指導、学校の生徒指導態勢づくり、問題行動への組織的な対応等が定着し、不登校等の減少につながってきている。

- 家庭教育への福祉的支援体制の構築として、20年度、3名の家庭教育支援員を小学校に配置した。家庭教育支援員は、家庭訪問等により、保護者、児童、教職員の相談を受け、その状況に応じて、医療または福祉の関係機関と必要に応じて連携をとり、事案の改善を図った。
- 全小中学校とも安芸高田少年自然の家を活用して、集団宿泊体験活動を実施した。家庭を離れた宿泊を伴う集団生活では、自ら考えて行動すること、ルールを守ること、仲間と協力すること等を学んだ。また、4泊5日の長期宿泊体験を行った学校では、家族への感謝の思いを改めて認識するなど、道徳性の育成にもつながってきている。

＜安芸高田少年自然の家利用状況＞

学校名	学年	内容	学校名	学年	内容
吉田小学校	3,4年	1泊2日	小田東小学校	3,5年	1泊2日
	5年	4泊5日	向原小学校	3,5年	1泊2日
	2,4年	PTC活動			
可愛小学校	3,5年	1泊2日	吉田中学校 生徒会	1,2,3年	1泊2日
郷野小学校	3,5年	1泊2日			
刈田小学校	3,5年	1泊2日	八千代中学校	1,3年	1泊2日
根野小学校	3,5年	1泊2日	美土里中学校	1,3年	1泊2日
美土里小学校	3,4,5年	1泊2日	高宮中学校	1年	1泊2日
川根小学校	3,4,5,6年	1泊2日	甲田中学校	1年	1泊2日
来原小学校	3,5年	1泊2日	向原中学校 生徒会	1年	1泊2日
船佐小学校	3,5年	1泊2日			
甲立小学校	3,4,5年	1泊2日			
小田小学校	3,5年	1泊2日			

- 今後、適応指導教室指導員は、在籍児童生徒だけでなく、非在籍の不登校傾向にある児童生徒についても、学校との連携の上で、家庭訪問等個別のニーズに応じた適時適切な支援をすることが必要になってくる。

(4) 開かれた学校づくりの推進（学校教育推進室）

【総括】

- ・ 学校評議員及び学校関係者評価委員の委嘱を行い、学校経営に対する評価、助言を受け、各学校の学校経営の改善に生かした。

【実施内容】

- ・ 決算総額 1,177,400円
- ・ 内訳

事業名	決算額(円)	概要
1 学校評議員委嘱事業	1,036,000	・ 学校評議員 54名委嘱
2 学校評価推進事業	141,400	・ 学校評価実施 ・ 学校関係者評価委員 87名委嘱

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 学校評議員制度、学校関係者評価の導入によって、学校の公開性を高め、地域、保護者に開かれた

学校づくりがより推進された。

- 学校経営について公表し、そのことに対する外部評価、助言を学校経営の改善に生かすことで、教育の質的向上が図られ、また、地域住民・保護者の学校教育への理解や支援の深化につながってきた。学校教育に対して 89.7%（H20 19 校平均値）の保護者が肯定的に評価している。
- 今後は、学校評価において選択と集中の視点を取り入れ、学校経営改善に生かしていく必要がある。また、学校経営目標との連鎖、教職員の目標の共有により、学校の組織力向上の手段として機能させたい。

(5) 学校教育体制の充実（学校教育推進室）

【総括】

- ・ 人材育成事業において、研修会の実施または研修会参加負担金及び校内研修講師謝金等への支援を行い、教職員の専門性の向上、職能成長を図った。
- ・ 県費負担教職員管理事業において、県費負担教職員の人事及びサービスの適正管理を行った。

【実施内容】

- ・ 決算総額 3,213,253 円
- ・ 内訳

事業名	決算額（円）	概要
1 人材育成事業	3,213,253	・管理職、主任等研修会実施 ・教職員研修会参加負担金支援 ・校内研修講師謝金支援
2 県費負担教職員管理事業	（人件費事業）	・県費負担教職員人事及びサービス管理

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 校長・教頭・事務長研修会を定例的に実施し、講師選択、研修内容や方法を工夫する事で、職能成長につながった。
- 教職員の研修機会の提供、校内研修の充実のための支援を行い、教職員の指導力向上を図った。
- 地域、保護者の願いは教職員の指導力の向上である。サービス監督者として、研修機会の提供、研修内容のさらなる充実を図りたい。

3 教育環境の整備（教育総務課）

【総括】

- ・ 学校は、子どもたちにとって、一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、学校教育活動を行うための基本的な教育条件である。また、地域住民にとっても、自然災害などの非常時には避難場所としての重要な役割を担うことから、耐震第2次診断及び耐震補強設計に着手するなど安全・安心な施設環境となるよう整備・充実を図った。
- ・ 日常の授業において必要不可欠な備品については、教育効果を高める観点から整備に努めた。とりわけ、新学習指導要領の施行に伴う武道や和楽器など、教材備品を整備した。

【実施内容】

- ・ 決算総額 381,863,068 円（職員人件費を除く）

・ 内訳

区 分	決算額 (円)	概 要
① 情報教育推進基盤整備事業	4,085,970 円 (繰越額) 29,688,000 円	<p>学校教職員一人一台 PC 借上料 (平成 20 年 11 月から 4 年間)</p> <p>小学校 2,574,160 円 (ノート 197 台ほか関連機器)</p> <p>中学校 1,511,810 円 (ノート 119 台ほか関連機器)</p> <p>地デジ対応テレビ等購入経費 (緊急経済対策事業)</p> <p>幼稚園 0 円 (繰越 444,000 円)</p> <p>小学校 0 円 (繰越 21,400,000 円)</p> <p>中学校 0 円 (繰越 7,548,000 円)</p> <p>適用指導教室 0 円 (繰越 296,000 円)</p>
② 学校耐震化推進事業	6,900,000 円 (繰越額) 34,969,000 円	<p>小学校の耐震化に関する経費 (耐震第 2 次診断、補強設計)</p> <p>吉田小学校 (校舎) 0 円 (繰越 11,445,000 円)</p> <p>中学校の耐震化に関する経費 (耐震第 2 次診断、補強設計)</p> <p>吉田中学校 (校舎) 4,000,000 円 (繰越 9,650,000 円)</p> <p>向原中学校 (校舎) 2,900,000 円 (繰越 7,075,000 円)</p> <p>甲田中学校 (体育館) 0 円 (繰越 6,799,000 円)</p> <p>※耐震評価委員会の裁定待ちのため工期を延長し繰越した。</p>
③ 教育施設・設備の整備	64,030,039 円 (繰越額) 37,036,000 円	<p>小中学校等における施設・設備の維持管理経費、及び備品購入などに関する経費</p> <p>工事請負費 (36,701,534 円)</p> <p>事務局 1,586,550 円</p> <p>小学校 19,813,013 円 (繰越 14,910,000 円)</p> <p>郷野小学校音楽室棟屋根等改修工事</p> <p>来原小学校プール改修工事 外 50 件</p> <p>中学校 14,379,021 円 (繰越 5,330,000 円)</p> <p>中学校インターホンを設置工事</p> <p>向原中法面改修工事(前払い) 外 36 件</p> <p>調理場 922,950 円</p> <p>八千代・高宮調理場厨房機器取替 外 2 件</p> <p>※繰越は、小中学校ともに緊急経済対策関係予算</p> <p>工事設計監理委託料 (2,021,250 円)</p> <p>小学校 1,265,250 円 (繰越 515,000 円)</p> <p>郷野小学校音楽室棟屋根等改修工事 外 3 件</p> <p>中学校 756,000 円 (繰越 315,000 円)</p> <p>向原中法面改修工事 外 3 件</p> <p>※繰越は、小中学校ともに緊急経済対策関係予算</p> <p>備品購入費 (25,307,255 円)</p> <p>事務局 0 円 (繰越 296,000 円)</p> <p>幼稚園 650,580 円</p>

		小学校 8,845,451円(繰越 3,549,000円) 中学校 15,811,224円(繰越 12,121,000円) ※繰越は、緊急経済対策に係る、新学習指導要領対応 教材備品、特色ある学校づくり事業関係備品予算
④就学援助事業	20,347,080円	就学支援及び奨学金貸付事業など、経済支援に関する経費 扶助費 17,107,080円 小中学校就学援助(293人) 貸付金 3,240,000円 奨学金貸与 (9人)
⑤小学校管理費	133,599,217円	小学校13校に係る維持管理上の経常経費など 学校共同事務室執行分を含む
⑥中学校管理費	86,961,046円	中学校6校に係る維持管理上の経常経費など 学校共同事務室執行分を含む
⑦幼稚園管理運営事業費	5,265,186円 (再掲)	公立幼稚園の運営に要する経常経費(職員人件費を除く) 吉田幼稚園
⑧学校給食施設管理運営費	57,726,049円	学校給食の運営に要する経常経費(職員人件費を除く) (共同調理場5箇所、自校給食3箇所は学校管理費へ計上) 57,726,049円 … 調理員派遣委託料を含む
⑨その他	8,213,667円	その他の一般管理費(職員人件費を除く)8,213,667円 維持管理業務委託料ほか
合計	381,863,068円	

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

□小・中学校の情報化については、学校教職員へ一人一台パソコンを配備するとともに、インターネット環境の向上のため職員室内のネットワークの再構築を行い、環境を改善した。

また、テレビ放送の地上デジタル化に対応するため、地デジ対応テレビの予算化を行った。

□耐震化優先度調査で危険度が高いと判定された校舎等について、第2次診断及び耐震補強設計に着手した。

また、施設・設備の維持管理では、下水道の接続など懸案事項や危険箇所の改修について、緊急経済対策事業として実施又は着手し、一定程度の改善を図ることができた。

□備品整備については、新学習指導要領への対応や特色ある学校づくり事業関連の備品について、緊急経済対策の予算なども活用して整備を進めることができた。

■教職員一人一台パソコンを有効に活用し、学校運営の高度化・効率化を推進するため、全ての小中学校において情報セキュリティ確保の観点から職員研修等による情報保護の取組みの強化が必要である。

■耐震化対策については、旧基準の全ての学校施設への耐震第2次診断を早期に実施し、これに基づく耐震補強等工事の着手が求められる。また、これと並行して、関連工事を実施し、老朽化した施設・設備については、質的整備を図る必要がある。

■学校教育施設・設備は全体的に老朽化しており、年間を通して応急処置(緊急修繕)に迫られる状況が顕在化していることから、抜本的な改修計画等を樹立し、計画的な措置が必要である。

■備品については、市全体として均衡ある水準を確保しながら、学校ごとにそれぞれの特性・特徴に応じて、必要度を検討して計画的に整備する必要がある。

Ⅲ 生涯学習

1 生涯学習体制の確立(生涯学習課)

【総括】

各地域の生涯学習・社会教育を担当する教育分室を文化センター等の地域拠点施設内に設置し、正規職員のほか社会教育指導員等を各1名配置した。また、社会教育事業や施設の運営等に関して助言を得るため、社会教育委員等の各種委員を委嘱し、会議を開催した。

公民館、文化センター、図書館などの所管施設について、維持管理や用具等の整備を行った。また、安芸高田少年自然の家については「輝ら里」愛称を決定し、平成20年4月1日から本格的に稼働し、「意欲を育む自然体験推進事業」や「サッカー教室」等の自主事業を展開した。

【実施内容】

社会教育総務管理費

区 分	決算額 (円)	概 要
社会教育指導員、社会教育専門員配置事業	12,964,821	社会教育指導員 5人 社会教育専門員 1人 報酬 12,959,321円 旅費 5,500円
審議会運営事業	1,388,034	社会教育委員の会議 会議2回、小委員会2回を開催 公民館運営審議会 会議4回を開催 文化財保護審議会 会議3回を開催 資料館運営委員会 会議1回を開催 四季の里作家選定委員会 会議1回を開催 報酬 1,174,000円 旅費 16,200円 ほか

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 社会教育委員の会議に「今後の社会教育施設の在り方について」を諮問し、答申に向けて会議を開催した。
- 公民館運営審議会に「今後の公民館事業の在り方について」を諮問し、答申に向けて会議を開催した。
- 文化財保護審議会に「郡山城跡発掘調査検出遺構の取り扱いについて」を諮問し、答申を受けた。
- 地域の生涯学習活動のコーディネーターである社会教育指導員、社会教育専門員のさらなる資質向上と、地域間の連携を深め事業効率と事業効果を高めることが必要である。
- 生涯学習・社会教育の推進体制の基盤となる社会教育振興計画を策定する必要がある。
- 文化財保護審議会については、高度な専門知識を持つ委員の任用と、適正な委員定数を検討する。

2 学習内容の充実(生涯学習課)

【総括】

公民館や文化センター等を活用し、青少年・成人・高齢者といった各世代に様々な学習機会を提供し、社会教育の充実を図った。また、子ども会やPTAなどの社会教育関係団体等に補助金を交付し社会教育活動の支援を行った。

家庭教育については、PTA研修などの保護者等の学習機会を活用し、基本的な生活習慣の修得など、家庭教育に関する学習支援を行った。

国際交流事業としては、国際姉妹校であるニュージーランド・ダーフィールドハイスクール、シンガポール共和国・メイフラワー中学校との交流を中心に、市民及び中学校生徒の現地への派遣を行うとともに、訪問団の受け入れを行った。

【実施内容】

ア 青少年教育事業費

区 分	決算額 (円)	概 要
子どもの居場所づくり推進事業	1,191,290	子どもふるさと探検隊 (吉田地域) 216,519 円 5回開催、延参加者数 126 人 児童演劇地方巡回公演 (八千代地域) 325,900 円 1回開催、参加者数 170 人 わんぱくキッズ (甲田地域) 265,100 円 3回開催、延参加者数 64 人 ほか
生涯学習団体の育成支援事業	648,000	団体補助金 安芸高田市子ども会連合会
放課後子ども教室推進事業 (広島県補助事業)	2,320,000	教室名 安芸高田市かわね放課後子ども教室 開設期間 平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日 実施回数 300 回 業務委託料 2,320,000 円

イ 成人教育事業費 ※1 講座は 2 時間×4 回

区 分	決算額 (円)	講座数 (回) 【() 内は昨年度】	受講者数 (人) 【() 内は昨年度】
IT 基礎技能習得講座開催事業 (パソコン講座)	1,950,626	30 (33)	187 (303)

ウ 家庭教育事業費

区 分	決算額 (円)	概 要
生涯学習団体の育成支援事業	750,000	団体補助金 安芸高田市PTA連合会 450,000 円 広島県PTA研究大会安芸高田市実行委員会 300,000 円

(参考)

区 分	決算額 (円)	延実施回数 (回) 【() 内は昨年度】	延参加人数 (人) 【() 内は昨年度】
家庭教育講座の開催事業 (広島県家庭教育推進協議会委託事業)	737,000	30 (31)	2,210 (1,879)

エ 人権教育事業費

区 分	決算額 (円)	概 要
委員、職員等研修	0	①市PTA連合会役員研修 参加者数 49人 ②社会教育委員、職員研修 参加者数 20人
映画上映会	200,000	作品名 「母べえ」 会 場 八千代文化施設フォルテ 参加者数 216人
講座、講演会	215,740	①人権教育講演会 (トーク&コンサート) 「みずぶのうたコンサート」 講 師 もりいさむ さん 会 場 市民文化センターホール 参加者数 230人 ②人権教育講座 「盲導犬とともに ～一番大切にしたいのは思 いやりの心」 講 師 清水紘子さん 会 場 美土里生涯学習センターまなび 参加者数 110人 ほか

※他にも「教室・講座開設事業」において人権教育に関する学習の機会を提供しています。

オ 教室・講座開設事業費

区 分	決算額 (円)	延実施回数 (回) 【() 内は昨年度】	延参加人数 (人) 【() 内は昨年度】
高齢者大学	1,788,561	47 (49)	5,136 (5,458)
市民セミナー	462,796	19 (23)	571 (1,052)

カ 国際交流事業費

区 分	決算額 (円)	概 要
ニュージーランド交流事業	3,985,260	姉妹都市であるニュージーランド・セルウィン に中学生8名、市民4名を派遣し交流を行った。
シンガポール交流事業	1,351,188	シンガポール・メイフラワー中学校に中学生7 名を派遣し交流を行った。 また、44名の訪問団を受け入れ、姉妹校として の交流を深めた。

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

□「放課後子ども教室」の事業趣旨を、「広報あきたかた」や市ホームページを活用して市民に周知を
図った。

- 団体への補助金交付の適正化のため補助事業実施要領を定め、補助対象経費を明確にした。
- IT基礎技能習得講座（パソコン講座）で受講者が使用するパソコン機器が老朽化したため、リース契約により新しい機器が使用できるよう改善した。
- IT基礎技能習得講座については、パソコン利用が定着しつつあることをふまえ、自主事業の実施から自主活動サークル等の活動支援への切り替えを検討する。
- 国際交流事業については、市民・中学校生徒の派遣や訪問団の受入れについて職員の事務量が多く、業務の一部を委託することなどにより事務の効率化を図る必要がある。

3 生涯学習施設の整備と有効活用(生涯学習課)

【総括】

公民館や文化センターなど、所管の施設について、維持管理並びに用具等の整備を行った。また、「少年自然の家」及び図書館については、施設の利活用を促進するために、それぞれ自主事業を実施した。

【実施内容】

ア 社会教育施設維持管理費

①施設の利用状況等（直営施設）

区 分	施設区分	決算額（円）	利用人数（人）
社会教育施設 (直営施設)	公民館	9,446,770	25,355
	文化センター	43,966,698	130,352
	博物館等	7,824,697	18,549

②施設の利用状況等（指定管理施設）

区 分	施設の名称	委託事業内容	利用人数（人）
社会教育施設 (指定管理施設)	八千代文化施設 フォルテ	○収入 9,251,304 円 ・指定管理料 8,800,000 円 ・施設利用料 300,000 円 ・雑収入 151,304 円 ○支出 8,967,344 円 ・給料、賃金 4,331,729 円 ・委託料 2,883,136 円 ・光熱水費 1,752,479 円	5,431
	吉田歴史民俗 資料館	○収入 13,565,452 円 ・指定管理料 12,006,000 円 ・施設利用料 1,182,250 円 ・雑収入 254,500 円 ほか ○支出 13,565,452 円 ・給料、賃金 4,873,132 円 ・委託料 2,181,083 円 ・光熱水費 1,988,940 円 ほか	6,294
	向原若者定住 環境整備施設	○収入 9,038,602 円 ・指定管理料 8,421,000 円 ・施設利用料 473,600 円	18,992

		<ul style="list-style-type: none"> ・雑収入 144,002 円 ○支出 9,043,155 円 ・給料、賃金 4,873,132 円 ・委託料 2,181,083 円 ・光熱水費 1,988,940 円 	
--	--	--	--

イ 少年自然の家管理運営費

①施設の利用状況

区 分	平成 19 年度	平成 20 年度	備 考
延利用者数 (人)	6,773	21,928	平成 19 年度は 6 ヶ月 (4 月～9 月) の実績 (施設リニューアルのため)
宿泊者数 (人)	3,878	7,886	

②事業概要

区 分	決算額 (円)	概 要
意欲を育む自然体験推進事業 (県委託事業)	818,015	<ul style="list-style-type: none"> ○指導者養成研修会 「ユースサポーター養成研修兼運営スタッフ研修」等 3 回 ○体験活動等の実施 「夏のチャレンジ ～創作活動に挑戦！」 ほか 6 回 (参加人数延べ 24 人)
施設管理運営事業	22,544,987	<ul style="list-style-type: none"> ○需用費 4,774,044 円 施設消耗品、事務用品、光熱水費 等 ○委託料 14,804,553 円 食堂業務委託料、清掃委託料 人材派遣業務委託料 等 ○使用料及び賃借料 2,006,953 円 寝具等借上料、下水道使用料等 ほか
施設整備事業	4,296,848	<ul style="list-style-type: none"> 管理棟給水配管取替工事 971,250 円 排水路等改修工事 2,404,500 円 備品購入費 346,000 円 HDD 内蔵 BD レコーダー 1 台 デジタルビデオカメラ 1 台 デジタルカメラ 1 台 施設等修繕費 575,098 円 トイレ、排水設備 遊具、エレクトーン修繕 等

ウ 図書館事業費

区 分	決算額 (円)	概 要
図書館資料整備	7,788,100	<ul style="list-style-type: none"> 図書資料・AV 資料購入整備 (備品購入費) 新聞・雑誌購入整備 (追録図書費) 図書データ作成費 (委託料) オンラインデータサービス (使用料)

図書館運営費	38,427,624	館長報酬（非常勤特別職） 図書館員（派遣職員人件費）
図書館協議会運営費	91,000	2回開催 図書館協議会委員 9名
読書推進事業	74,930	さこももみ絵本原画展・読み聞かせ会 先進図書館長を招いての館内研修 講師 滋賀県元愛知川町立図書館長 渡部幹雄
図書管理システム更新	5,066,250	更新機器購入整備（パソコン他）

（参考）図書館利用状況

区 分	平成 19 年度	平成 20 年度	比較（H20－H19）
年度末蔵書冊数（冊）	149,089 冊	152,973 冊	3,884 冊増
年度末累計登録者数（人）	11,073 人	12,275 人	1,202 人増
年間個人貸出冊数（冊）	135,305 冊	186,375 冊	51,070 冊増
年間個人貸出人数（人）	40,838 人	47,346 人	6,508 人増

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 文化センターの音響・照明施設等の保守点検業務委託料などを一括契約し、事務の効率化と経費のコストダウンを図った。
- 「少年自然の家」の有効活用のため、市内児童・生徒の不登校対策として適応指導教室と連携し、「意欲を育む自然体験推進事業（広島県委託事業）」を実施し、県教育委員会とともに事業効果について検証した。
- 図書館全館にインターネットの利用のできるパソコン端末（10台）を整備し、またオンラインデータベース（聞蔵、ジャパンナレッジ）を導入したことにより、情報入手の環境を整備した。
- 「少年自然の家」については、下半期（10月～3月）の施設利用が極端に少ない。下半期の施設利用を促進し、施設の安定運営を目指すとともに、指定管理者による運営とし、効率的な運営体制を整える必要がある。
- 中央図書館を中心とした本館・分館管理体制の確立や指定管理者制度の導入も含め、今後の図書館管理運営方法を検討する必要がある。

4 文化活動の推進（文化スポーツ振興室）

【総括】

市民の文化・芸術活動の振興を図ることを目的として、平成19年度に開館した市民文化センター（クリスタルアージュ）を中心に市内6館の市文化センター、八千代の丘美術館、市民ギャラリー向原の各拠点社会教育施設を活用し、優れた文化・芸術鑑賞機会の提供、並びに市民の学習成果の発表機会の提供を行った。

【実施内容】

区 分	決算額（円）	概 要
文化センター運営事業	7,656,849	○市文化センター等自主事業 14公演 ○広島県美術展巡回展 ○あきたかた市民文化祭（舞台発表・展示発表） ○けんみん文化祭（地区大会・県決勝大会）

		○市民文化センターホールボランティア育成 (登録人数 26名) (舞台音響・照明操作学習会 5回)
文化活動団体支援事業	2,632,000	○大会・運営補助金による支援 安芸高田市文化団体連合会 800,000円 文化創造センター運営委員会 234,000円 市民文化祭実行委員会 200,000円 各町文化祭実行委員会 1,398,000円

(参考) 実施事業内容

区 分	概 要
優れた芸術文化の鑑賞機会の提供	○市民文化センター NHKラジオ公開録音「民謡をたずねて」 内田貴光イリュージョンマジックショー (1,575,000円) 宝くじ文化公演 春風亭小朝独演会 けんみん文化祭分野別フェスティバル (芸能の祭典) 広島県美術展 (巡回展) ○八千代文化施設フォルテ 人権映画上映会「母べえ」(人権教育事業) (200,000円) ○美土里生涯学習センターまなび 津軽三味線演奏会 (921,500円) ○高宮田園パラッツォ ブロードウェイパペットミュージカル (1,115,100円) ○甲田文化センターミュージズ 高橋英樹文化講演会 (1,975,000円) ○向原公民館 演劇公演「劇団ユニット体温／父と暮らせば」(420,000円) ○吉田文化創造センター (文化創造センター運営委員会主催) 井賀上紘志ジャズライブ他6公演
市民の学習成果発表機会の提供	○あきたかた市民文化祭 (芸能・展示) ○けんみん文化祭芸北地区フェスティバル ○各町文化祭 ○第4回あきたかたウィンドアンサンブル定期公演 (共催事業)
市内小学校対象事業	○児童演劇地方巡回公演 (刈田・根野小学校) ○本物の舞台芸術体験事業 (可愛・小田・郷野小学校) ○子どもの映画鑑賞普及事業「マリと子犬の物語」上映会 (吉田・可愛・郷野小学校) ○広島交響楽団音楽教室 (市内全小学校高学年) (吉田町女性会との共催事業)

区 分	決算額 (円)	概 要
八千代の丘美術館運営事業	7,541,067	○15棟ギャラリー運営 第8期入館作家15名 年2回作品入替 四季の里「春祭り」、「冬祭り」の開催 第7期入館作家による作品の寄贈(3点) ○企画展 年間16回開催(市内小中学生自画像展他) ○その他文化・芸術事業 入館作家公開講座 年19回 企画展公開講座 年9回 入館作家出前教室 年1,171回
市民ギャラリー向原運営事業	904,129	○和高節二常設展 ○企画展 年間5回開催(田川幸義作品展他) ○和高節二寄贈作品修復(3点)

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- これまで、各町教育分室独自で企画実施してきた各種文化事業を一括管理し、事業種別、事業対象、開催時期、開催施設を総合的に判断し事業展開を行った。
- 市民の参画促進という観点から、市民の学習成果の発表機会等の拡大を図る。
- 文化協会等文化活動団体の発展を促すため、自立促進へ向けての支援が必要である。
- 市内各主要施設の一層の有効活用を図る。(目的別、機能別の活用促進。稼働率の向上など。)
- 八千代の丘美術館について、指定管理者制度導入を含め今後の運営方法の検討が必要である。

5 文化財の保護と活用(生涯学習課)

【総括】

安芸高田市の文化財の保護と活用をすすめるため、指定文化財等の調査・整備を行うとともに、吉田歴史民俗資料館において、企画展の開催、公開講座などの教育普及活動の実施、歴史資料の調査・研究を行った。また、市内の伝統文化保存伝承団体に補助金を交付し、その活動を支援した。

【実施内容】

ア 歴史資料等保存活用事業費

区 分	決算額 (円)	概 要
歴史・伝統文化学習機会提供事業	2,483,356	○企画展開催事業 「絵図になった風景 ～安芸高田 毛利の城から村・町まで」 ほか4回開催 延入館者数 4,509人 ○公開講座開催事業 「戦国宍戸外伝 ～前期宍戸氏の謎を探る」 ほか7回開催 延参加者数 546人 ○絵画コンクール「文化財を描こう」 市内児童 659点の応募のうち 33点を表彰

資料収集・調査事業	4,870,613	市内民俗資料調査 高宮町資料収蔵室保管分 1,189点 向原町旧有保小学校保管分 894点
-----------	-----------	---

イ 文化財保護事業費

区 分	決算額 (円)	概 要
文化財整備事業	3,115,595	郡山城跡（西谷地点）整備事業 2,188,095円 遺構周辺修景整備、遺構断面剥取 遺構断面剥取シートパネル化業務 ほか
埋蔵文化財試掘調査	723,555	予防治山事業（猿掛城跡）に伴う埋蔵文化財試掘調査業務委託料
伝統文化の保存伝承事業	1,565,000	団体補助金 吉田子供歌舞伎壇尻屋台保存会 540,000円 原田はやし田保存会 450,000円 ほか

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- 民俗・歴史資料を市内の公共施設において効率的に保管するため、資料の状況調査を実施した（高宮・向原地域）。
- 治山事業に伴う発掘調査において発見された郡山城跡（西谷地点）の遺構については、文化財保護審議会の意見を聴き、適切に整備を実施した。また、遺跡見学会を実施し市内外に周知を図った。
- 引き続き民俗・歴史資料の状況調査を実施し（吉田・八千代・美土里・甲田地域）、資料の効率的な保管に資することとする。

6 スポーツレクリエーション活動の推進(文化スポーツ振興室)

【総括】

スポーツ振興会議において、スポーツ振興計画を策定すべくアンケートを実施し、その結果や市長懇談会の議事録等をもとに委員の意見交換を行いスポーツ振興計画の概案をまとめた。

また、安芸高田市にかかわりの深いサンフレッチェ広島及び湧永製薬ハンドボール部の応援をとおして、見て応援するスポーツを推進すると同時に、全国大会に出場する選手の壮行会の実施等により競技スポーツの推進を図った。

海洋体験学習についてはB&G財団のプログラムを活用し、マリンスポーツを楽しみながらチームワークを学び、全国から集まった子ども同士の交流を図った。

【実施内容】

ア 保健体育総務管理費

区 分	決算額 (円)	概 要
スポーツ振興会議	495,500	委員報酬（委員11名）、会議2回開催 スポーツ振興計画策定のため、アンケートの結果等を参考に委員の意見交換を行なった。
サンフレッチェ広島の応援	2,559,735	8月23日広島ビッグアーチでおこなわれた対福岡戦を、安芸高田市スポンサードゲームとして市民581人で応援した。

湧永ハンドボール部の応援	189,000	11月8日広島市東区スポーツセンターで開催された対大崎電気戦を、市民102人で応援した。
スポーツ全国大会等出場者支援	130,000	全国大会等出場者壮行会の実施及び奨励金の交付
B&G海洋体験学習	357,000	B&G財団の実施する海洋体験学習参加者に経費の一部を助成し、体験学習を通じて子どもの健康づくりや人間形成を図った。

イ スポーツ振興団体育成事業費

団体名	決算額(円)	団体事業の概要
安芸高田市体育協会	4,250,000	<ul style="list-style-type: none"> 市総合スポーツ大会の実施 各地区体育協会の活動支援
安芸高田市スポーツ少年団	1,731,000	<ul style="list-style-type: none"> 単位スポーツ少年団の活動支援及び日本スポーツ少年団登録事務
みつやの里スポーツクラブ	2,000,000	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者までのスポーツ活動の実施
いきいきクラブたかみや	4,830,000	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者までのスポーツ活動の実施
安芸高田市サッカー協会	400,000	<ul style="list-style-type: none"> サッカーの普及、振興 ジュニアの競技力向上、育成
安芸高田市ハンドボール協会	1,620,000	<ul style="list-style-type: none"> ハンドボールの普及、振興 ジュニアの競技力向上、育成
安芸高田市カヌー協会	280,000	<ul style="list-style-type: none"> カヌースポーツの普及、振興 カヌー競技力の向上
安芸高田市サンフレッチェファンクラブ	400,000	<ul style="list-style-type: none"> サンフレッチェ広島応援活動
安芸高田市ゲートボール協会	300,000	<ul style="list-style-type: none"> ゲートボールの普及、振興

ウ スポーツ教室・大会等開催事業費

区 分	決算額(円)	概 要
スポーツエキスパート活用事業	510,000	市内中学校の運動部に外部指導者を派遣し、地域の専門的指導者を活用するとともに、運動部活動と地域との連携を促進
日独スポーツ少年団同時交流会	279,400	ドイツのスポーツ少年団の選手・指導者10名と安芸高田市スポーツ少年団選手等との交流会
ハンドボール教室	148,800	甲田町内3校及び郷野小学校でのハンドボール教室
その他地区スポーツ大会等開催事業	1,316,300	ラジオ体操の集い、スキー・スノーボード教室、ソフトバレーボール大会、駅伝大会等の開催

エ スポーツ指導者等育成事業費

区 分	決算額(円)	概 要
体育指導委員育成事業	786,540	体育指導委員研修会等の研修活動

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- スポーツ振興会議の協議により、スポーツ振興計画の概案がまとまった。
- サンフレッチェ広島や湧永製薬ハンドボール部の応援事業により、「見て応援するスポーツ」が推進できた。
- スポーツエキスパート活用事業により、専門性の高い技術指導を児童・生徒に提供できた。
- 体育指導委員の協力により、ラジオ体操が地域に根付きつつある。
- ハンドボールをはじめとしたスポーツ教室や駅伝大会などの実施により、多種目のスポーツを提供できた。
- 総合型地域スポーツクラブ「いきいきクラブたかみや」の設立により、高宮地区の市民を中心にスポーツを提供できる組織が増えた。
- スポーツ団体の自立方法について検討する必要がある。
- さまざまなスポーツ指導者の育成を図る必要がある。
- スポーツボランティアを育成する必要がある。

7 スポーツ・レクリエーション施設の整備(文化スポーツ振興室)

【総括】

グラウンドやプールなどのスポーツ振興施設の維持管理並びに用具等の整備を行った。

【実施内容】

ア 社会体育施設維持管理費

区 分	決算額 (円)	内 訳 (円)		利用人数 (人)
スポーツ振興施設 (直営施設)	13,345,131	グラウンド	3,152,881	63,604
		体育館	1,431,000	88,588
		プール	3,196,250	9,430
		美土里体育センター	5,565,000	3,325
指定管理施設	162,782,000	吉田運動公園	23,677,000	70,459
		吉田サッカー公園	53,591,000	42,673
		吉田温水プール	47,243,000	34,078
		美土里総合運動公園	3,320,000	8,208
		美土里緑の交流空間	968,000	419
		美土里B & G海洋センター	13,300,000	33,182
		八千代B & G海洋センター	9,987,000	13,877
		高宮B & G海洋センター	10,696,000	22,728

* 直営施設利用人数は、学校開放施設利用人数を含む。

* 美土里体育センターは、北生グラウンド利用人数を含む。

イ AED (Automated External Defibrillator: 自動体外式除細動器) 整備事業

区 分	決算額 (円)	概 要
AED整備事業	1,035,216	AED 全小学校13校への設置(リース)

【成果及び今後の課題】 □：成果 ■：課題

- AEDの整備計画35施設35台のうち全小学校13校にリース契約により設置し、累計25台の整備

を行った。

- 施設の管理については、それぞれの施設の運営方法を検討し、最小限のコストによりそれぞれの施設が機能する管理方法を決定する必要がある。
- 施設の配置、利用率、老朽化等各施設の機能を総合的に検討し、改修・廃止・使用目的の変更等をすすめる必要がある。

IV 教育行政評価委員会の意見

教育行政評価委員会の概要

1. 教育行政評価委員会の設置目的

本市の教育行政を効果的、発展的に推進するとともに、広く市民への説明責任を果たすため、教育に関し学識経験を有する者で構成する「教育行政評価委員会」を設置し、平成20年度に執行した教育行政に関する事務及び管理について、教育委員会が行った内部点検及び評価に関して意見を聴取する。

2. 開催日時及び場所

平成21年9月9日（水曜日）午後2時から
クリスタル・アージュ 301 研修室

3. 出席者

教育行政評価委員 5 人

（PTA関係者1人、学校関係者2人、民間有識者1人、大学教授1人）

区分	職名	委員氏	備考
保護者代表	委員	増田 聖	市PTA連合会長（船佐小学校）
学校外部評価委員	委員	猪上 優	小学校外部評価委員（吉田小学校）
	委員	國山 君	中学校外部評価委員（甲田中学校）
民間有識者	副委員	三好 健	民間有識者（湧永製薬(株)総務課長）
学識経験等を有する者	委員長	徳本 達	大学教授（広島文教女子大学教授）

安芸高田市教育委員会 教育長、教育次長、教育総務課長、学校教育推進室長
生涯学習課長、文化スポーツ推進室長 ほか係長6人

4 報 告

（平成19年度の委員会での意見について、その後の対応等、経過の報告）

① 国の補助事業の有無にかかわらず有用な制度は継続してほしい。

【報告】 家庭教育支援員については、平成20年度から広島県では制度が廃止され、補助対象事業ではなくなった。止む無く規模は縮小したものの、市の単独事業として継続実施している。学習補助員は、制度を拡大して全ての小学校へ配置している。

- ② 「特色ある学校づくり事業」において、学校ごとの事業費に多少の差異が見られる。金額では表せない部分で努力している内容などの説明があればよいと思う。また、学校間の取組みの交流を進めるとともに市民に対して事業の内容を積極的に公表し、事業実施にあたっては、一層地域連携を進めることが大切と思う。

【報告】 平成 19 年度は学校間で活動のバラつきが見られたが、平成 20 年度においては、全ての学校で特色のある取組みが出揃い充実した活動がされている。今後とも、活動内容を充実させるとともに活動内容について広く公表し、理解を促進する。

- ③ 学力については、英語は県平均と比較して高い数値を示しているが、国語や数学において通過率に多少の課題が見られるようである。小中学校における取組みを一層推進され、努力をお願いしたい。

【報告】 平成 20 年度から試行的に 3 名の学習補助員を配置し授業の補助や家庭学習の支援を行った。結果として、配置した小学校では前年と比較して学力向上の傾向が確認されており、このことを受けて平成 21 年度からは全ての小学校へ学習補助員の配置を拡大している。

- ④ 安芸高田市内の子どもたちの傾向として、家庭学習時間の不足やテレビ視聴時間について課題があるように思われる。引き続き、課題の解決へ向けて取組みをお願いしたい。

【報告】 テレビの視聴時間は減少傾向にあり、家庭学習の時間は増加傾向にある。特に、家庭学習の時間については、広島県「基礎・基本」定着状況調査の平成 20 年度調査と比較して平成 21 年度調査では約 10 ポイント上昇し、取組みの成果が現れている。このことは、平成 21 年度の学力向上につながるものと捉えている。

- ⑤ 不登校の児童生徒については、その原因について一層の分析を行い、効果的な対策が必要と思う。

【報告】 取組みの成果として不登校児童生徒数は、全体として減少している。平成 21 年度から家庭教育支援員の対象校を中学校へも拡大して活動をしている。また、中学校へはスクールカウンセラーを配置しており、これらの制度を連携させて効果的に取組みを進めていくこととしている。

- ⑥ 「放課後子ども教室」については、今以上に周知に努め、市民への浸透を図るとともに制度の有効活用を図るべきと思う。

【報告】 このことについては、市広報紙や公式ホームページなどへ記事を掲載し、内容の周知に努めてきた。今後も折に触れて周知に努める。

5. 議 題

(平成 20 年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について)

6. 委員会からの主な意見等

【学校教育に関する事務事業について】

- 不登校児童生徒については、家庭教育支援員や学習補助員の配置などの努力がされ、

減少傾向であり、成果が認められる。中学校にも同様な人員を配置すれば、もっと不登校生徒の数が減るのではないか。限られた予算の中ではあるが検討はできないものか。

- 学校施設の耐震化に着手されたとある。毎年、学校施設の維持修繕については多額の費用を投じて対応されているが、平成 21 年度から実施されている学校規模適正化の取組みとの整合を図りながら、教育・学習環境の安全を優先するという原則に立ち、耐震化対策の取組みを進めてほしい。

【生涯学習に関する事務事業について】

- 伝統文化（子ども歌舞伎）の伝承について、毎年、他県から短期間指導者を招聘し、指導料を支出して上演している状況である。このままでは、本質的な伝統文化の伝承と捉えにくい。将来的な課題として、指導者の育成など取組みはできないものか。
- 少年自然の家は、市内の小中学校が有効に活用していることは理解できる。今後は、市外の学校や団体等へも積極的に働きかけ、稼働率を上げていくことをお願いしたい。

【文化・スポーツの振興に関する事務事業について】

- 生涯学習と学校教育の連結、連携という視点から、とりわけスポーツ振興としてのハンドボールの普及については、新市発足後 5 年を経過した現在においても、例えば小学生のハンドボール教室を見ても全市的な拡がりが見られ不足していると思われる。現在のスポット的な事業だけではなく、今後は、地域や世代を越えた拡がりのある取組みとしてほしい。

【総括意見】

- ① 安芸高田市には、人的をはじめ多彩な地域資源がある。それらの地域資源を点から線、さらには面にして、子どもたちが地域の人々に支えられていると実感できる、安芸高田の教育を実現して欲しいと思う。

安芸高田市教育のメリットは、「地域の人々と子どもたちの距離が近い」ということだと思う。地域の持っている環境の中で、学校で学んだことを日常生活へどのように生かしていくか、安芸高田市には、地域の人々の背中を見ながら子どもたちが学ぶことのできる環境がある。安芸高田市としての教育の基本をしっかりと認識し、発信することが大切である。それが、安芸高田市教育の推進しようとしている「協育」であると思う。

- ② 国・県及び市において、もっと教育にお金をかけるべきだと思っている。

企業はもっとがんばって経済を活性化させ、官は経済の活性化に伴う財源を有効に活用して人材育成などに努めるべきと思うが、現況は、全てがそのようなになっていない。今こそ、逆転の発想をする必要があると思う。

- ③ 家庭や地域の教育力の低下をいわれるが、これを否定することはできないと思う。

学校で教わった知識を、より良く、深くするのは家庭であると思っている。そのためにも、PTAにもっとしっかりしてほしい。

最近、ある小学校の学校だよりも保護者からの自省の記事が掲載されている。保護

者が自分自身の姿を見つめなおすということは、以前にはなかったことでとても良いことだと感じている。

- ④ 以前は、年齢を超えた集団、遊びの中でそれぞれの役割分担が自然発生的に生まれ、大人が支えなくても社会性を育むことができていたように思うが、近年、社会環境の変化の中で、子どもたちの社会力が弱くなっており、家庭や地域がしっかりし支援する必要があると感じている。PTAとして、保護者がしっかりと連携して取組みを進めていきたい。